



アンジェス株式会社 2025年12月期 第1四半期決算サマリー

～「遺伝子医薬のグローバルリーダー」を目指して～



2025年5月

2025年度第1四半期の主な事業トピック

【HGF遺伝子治療用製品】：米国の臨床試験結果からFDAと開発方針を検討

米国：第Ⅱ相臨床試験の結果をもとにFDAと今後の開発方針を検討
試験結果についてはFDAも高評価
今後の進め方における確認事項を整理中

日本：米国での進捗をふまえ検討

3月に開催した**会社説明会**で、米国臨床試験のキーパーソンが対象疾患と試験結果について説明

【NF-κBデコイオリゴDNA】：国内での第Ⅱ相臨床試験実施中

日本国内での第Ⅱ相臨床試験は症例登録が進捗

【Tie2受容体アゴニスト】：米国での第Ⅱ相臨床試験実施中

米国における第Ⅱ相臨床試験の症例登録ペースが若干低下
→登録完了は2025年後半を目指す

【ゾキンヴィ】：概ね計画に沿って販売中

2025年度第1四半期の主な事業トピック

【ACRL】：拡大新生児スクリーニング検査の受託拡大

・拡大新生児スクリーニング検査の受託数増加

2024年度は前年度比倍増、2025年度も順調な受託

新たな自治体(関連団体を含む)からのスクリーニング検査を受託

・希少遺伝性疾患の診断から治療までをサポートする包括的な検査体制

遺伝学的検査の対象疾患を拡大

→HGPS及びPDPLに加え拡大新生児スクリーニングの対象7疾患に拡大

治療効果のモニタリングや二次スクリーニングに向けたバイオマーカー検査の実施体制の構築を進める

【Emendo社】：OMNIヌクレアーゼに関する研究成果を米国にも展開

米国における研究開発活動及び導出等を進めるための体制づくりを進める

2025年度第1四半期 連結業績

事業収益・営業損益がともに改善

事業収益は順調に増加(前年同期比+49%) 事業費用はのれんの償却が無くなったことで大きく減少

(単位：百万円)

	FY2024-1Q	FY2025-1Q	増減
事業収益	113	169	55
事業費用	2,590	1,424	△ 1,165
営業損益	△ 2,476	△ 1,255	1,221
営業外収支	949	17	△ 931
経常損益	△ 1,527	△ 1,237	289
特別損益	△ 243	0	243
当期純損益	△ 1,824	△ 1,247	576

事業収益 (前年比+49.0%)

- ・ACRLでの拡大新生児スクリーニング検査が113百万円(YoY+78百万円)
- ・ゾキンヴィの売上げ55百万円 (YoY+55百万円)

事業費用 (前年比△50.7%)

- ・売上原価：113百万円(YoY+71百万円) ゾキンヴィの売上原価及び拡大新生児スクリーニング検査の原価が増加
- ・研究開発費：789百万円(YoY△181百万円) 主にEmendo社の人件費等の減少
- ・販管費：521百万円(YoY△1,055百万円) 主にのれんの償却が無くなり、Emendo社の人件費等の減少

営業外収益 (前年比△4,494百万円)

- ・Emendo社への貸付金を貸し倒れ引当金計上により評価替えを行わなくなったため 為替差益27百万円 (YoY △897百万円)

2025年度第1四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024年12月末	2025年3月末	増減
流動資産	3,542	4,599	1,057
うち現金及び預金	1,707	2,676	968
固定資産	1,125	1,080	△ 45
うち「のれん」	0	0	0
総資産	4,668	5,680	1,011
負債	2,512	2,462	△ 49
純資産	2,156	3,217	1,061

流動資産

第45回新株予約権の行使+2,313百万円
原材料及び貯蔵品+107百万円

純資産

第45回新株予約権の行使 資本金+1,165百万円
及び資本剰余金+1,165百万円
四半期純損失 △1,247百万円

「遺伝子医薬のグローバルリーダー」を目指して



アンジェス ホームページ
<https://www.anges.co.jp>